

出前講座

大石田小5年生の理科の授業で「台風の被害」について講義

10/2(木)大石田小5年生の理科の授業で、「台風などの影響による最上川の洪水被害」について当時の被害状況の写真を使いながら講義を行いました。



大正2年8月洪水 大石田町

生徒たちは自分たちが住む大石田の被害状況について真剣に話を聞いていました。



平成9年6月洪水 大石田町



最上川四日町堤防にて

大石田小マラソン大会



10/9(木)毎年恒例の大石田小全校マラソン大会が最上川四日町堤防で行われました。秋晴れの空の下、保護者の方や地域の方など多くの方の声援が飛び交い、活気あるマラソン大会となりました。

近くの幼稚園児も応援に駆けつけました！



がんばれ～!!

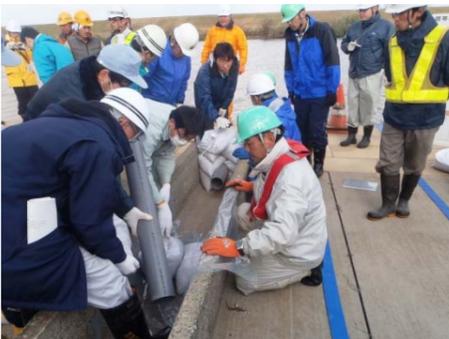


雄大な最上川の流れを感じながら一生懸命、元気に走りきりました。

10/29 オイルフェンス組立等設置訓練

油流出事故の対応訓練実施！

河川への油流出事故が多発する冬を前に、最上川水質汚濁対策連絡協議会が、酒田市宮野浦の京田川河川敷でオイルフェンス組立等設置訓練を行いました。



▲水路での油処理訓練



▲オイルフェンス組立訓練

▼横断工法訓練



訓練には、国・県・最上川流域の市町村など関係者約70人が参加。油事故が起こった際に迅速な対応ができるように各種技術の習得・訓練を行いました。

油 注意!!

毎年冬に多発しています。その多くが人的ミスによるものです。

ホームタンクから灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えています。

油流出事故を防ぐための心掛け

①その場を離れない

ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場から離れないようにしましょう。

③落雪に注意して

屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。

②配管の場所には目印を

除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。

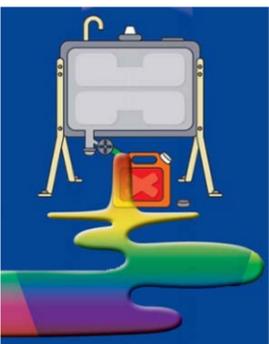
④定期点検を怠らない

配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。

事故を起こした場合や発見した場合

お近くの

国や県の機関、市町村役場、消防署、警察署等へご連絡ください。





危険!!

「スズメバチの巣」が河川施設に多発、撤去しました!

海谷排水樋管・海谷第2排水樋管・舟戸大橋において、スズメバチの巣が確認されました。付近には多くのスズメバチが飛んでいて河川利用や河川管理上とても危険な状況でした。そこで今回簡易トラップを作ってハチをとり、その後巣を撤去しました。



スズメバチは大変危険です。撤去は専門業者に依頼しましょう。

▲巣の近くにペットボトルで作った簡易トラップをしかけました。

▲数日後、1箇所100匹以上のハチが入っていました。

▲ハチが少なくなったところで無事に撤去作業完了!

しょうこの

現場レポ

★今回レポートする現場は...!

くらおかちくぼうさいたいさく

「戸沢村蔵岡地区防災対策工事」現場

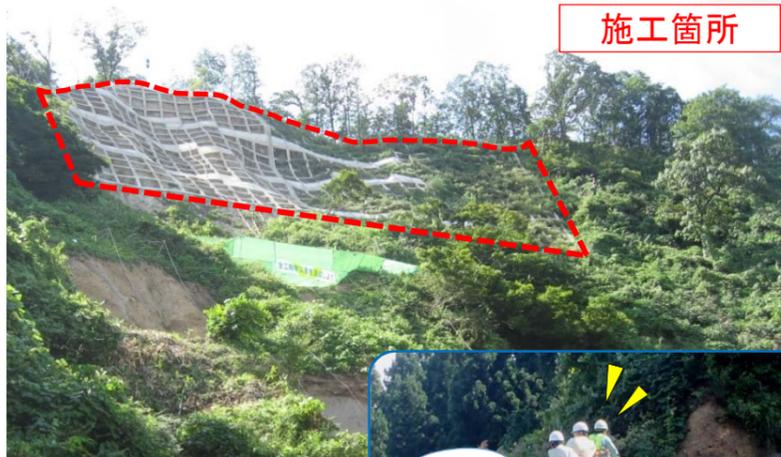
施工:株式会社 柿崎工務所



庄内方面への観光・通勤・通学に重要な役割を担う国道47号線。しかし、戸沢村蔵岡地区ではH23.3~H25.3の2年間だけで雪崩が3回、雪崩による全面通行止めが1回起こっています。

今回は、雪崩を防ぐためにH25年から行っている防災対策工事をレポートします!

施工箇所



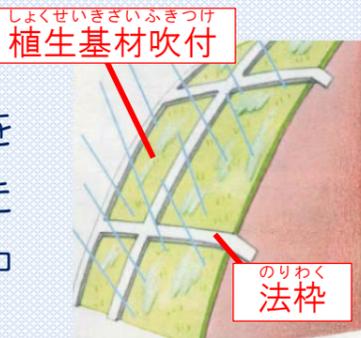
1台
4人乗り

▲作業員さん達は工事現場までこのトロッコで移動。約10分。この先、予想以上の急傾斜!
◀工事現場から最上川を一望。なかなかの絶景!!

* 工事概要 *

① 法枠工

斜面に金網製の型枠を取り付け、モルタル(注1)を吹き付けて法枠を作り安定させます。また雨風があたっても風化しないように法枠の中に植生基材(注2)を吹き付けます。



(注1) モルタル: セメントと砂と水を混ぜて練ったもの。時間がたつと固まる。

(注2) 植生基材: 植物の生育基盤となる材料(植物の種や肥料など)



法枠工前の斜面掘削作業は、重機が入れない場所なので人力作業で行い、この作業が一番大変だったそうです。

② 雪崩予防(吊柵工)

雪崩予防のための3段の吊柵を設置しました。



作業現場への移動にトロッコが使われていることに驚きました!トロッコに乗って工事現場まで行きましたが、現場までの道のりの険しさを体感し、作業員さんたちの体力面・安全面からも必要な策だと感じました。

